

平成 25 年度低コスト作業システム現地検討会を実施しました

国有林野事業においては、地域の森林・林業への支援を通して、森林・林業の再生への貢献に取り組んでいるところでありますが、このたび山形森林管理署では、管内の町村や林業事業体に参加を呼びかけ、列状間伐及び路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの普及・定着を目的に、低コスト作業システムの現地検討会を開催しました。

東北森林管理局から計画保全部長をはじめとした講師陣による現地指導とともに、林業事業体から日頃の事業実施を踏まえての意見や、林研グループの方から民有林の施業方法との違いを述べて頂くなど幅広い意見交換が行われました。

また、低コスト作業システムの向上のためには、PDCA サイクルに基づく改善を進めることが重要であることから、今回当署では、林業事業体の協力により作業日報の提供を受け、工程の分析を試みました。生産性の向上や、森林・林業の再生に貢献できるよう、更にデータを収集し、分析を進める予定です。